Ⅱ．平成14年の主な密輸摘発事例

１．覚せい剤

【洋上取引により密輸しようとした大量の覚せい剤を摘発】

○　１月、門司税関は、福岡県警察本部及び第七管区海上保安本部等と協力して、玄界灘に停泊していた中国籍船舶の船内検査を実施し、船内隠し倉庫から覚せい剤約151kgを発見・摘発。

【旅客がお菓子等に擬装して密輸しようとした錠剤型覚せい剤を摘発】

○　10月、東京税関は、香港から成田空港に到着した日本人女性旅客の携帯品検査において、スーツケース内のお茶缶及び菓子袋の中に隠匿していた覚せい剤錠剤約８千錠（約３kg）を発見・摘発。

【旅客が制限区域内で空港内警備員に受渡して密輸しようとした覚せい剤を摘発】

○　11月、東京税関は、千葉県警察本部等と協力して、香港から成田空港に到着した日本人男性旅客が、税関検査を受ける前に空港内警備会社に勤務する日本人男性に書類ケースを手渡したところを職務質問し、同書類ケース内から覚せい剤約７kgを発見・摘発。

【鳥取県名和町海岸等に漂着した大量の覚せい剤を摘発】

○　11月及び12月に民間人から通報のあった鳥取県名和町海岸等へ漂着した覚せい剤約237kgの事件について、神戸税関が鳥取県警察本部等と共同調査（捜査）を実施。

その他の密輸事犯

（1）規制フロン（通称：フロン12）の密輸入

オゾン層を破壊する物質として「オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書」で輸出入が規制されている特定フロンガスの密輸事犯が相次いで摘発された。（平成14年：７件、24,329kgを摘発。）

２．大麻

【旅客がスーツケースを二重工作して密輸しようとした大麻草を摘発】

○　６月、東京税関は、タイから韓国経由で成田空港に到着した韓国人女性旅客４名の携帯品検査において、それぞれが携行スーツケースを二重工作して隠匿していた大麻草約38kgを発見・摘発。

【別送品の民芸品の中に隠匿して密輸しようとした大麻草を摘発】

○　６月、大阪税関は、セネガルから関西空港に到着した輸入別送品の検査において、太鼓内に隠匿していた大麻草約６kgを発見、大阪府警察本部と協力してセネガル国籍男性1名を検挙。

【船舶乗組員が密輸した大麻樹脂を摘発】

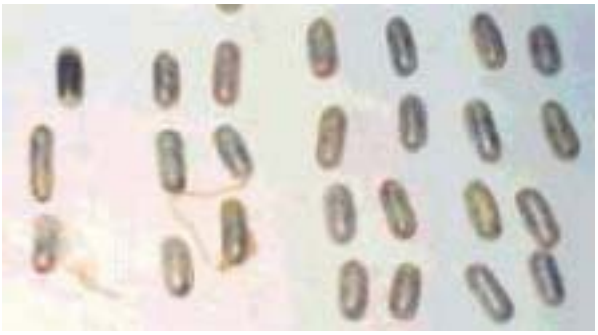
○　３月、大阪税関は、ロシアから富山新港に入港したロシア船の船員２名がリュックサックを所持して下船してきたところを尾行し、富山県警察本部及び伏木海上保安部と協力のうえ、リュックサックに隠匿していた大麻樹脂約10kgを発見・摘発。

【カレンダーを工作して密輸しようとした大量の大麻樹脂を摘発】

○　12月、東京税関は、輸入申告のあったネパール仕出しの航空貨物（品名：カレンダー及び手工芸品）の輸入検査を実施し、カレンダーの表紙を二重に貼り合せて隠匿していた大麻樹脂約52kgを発見し、千葉県警察本部、埼玉県警察本部及び群馬県警察本部と協力し、配送先等の捜索を行い、密輸入のうえ保管していたものを含め、大麻樹脂合計約147kgを摘発。

【旅客が体内に飲み込んで密輸しようとした大麻樹脂を摘発】

○　７月、東京税関は、インドからタイ経由で成田空港に到着した日本人男性旅客の携帯品検査において、麻薬探知犬反応があったことから、厳重検査を実施し、体内に飲み込んでいた大麻樹脂約0.3kgを摘発。



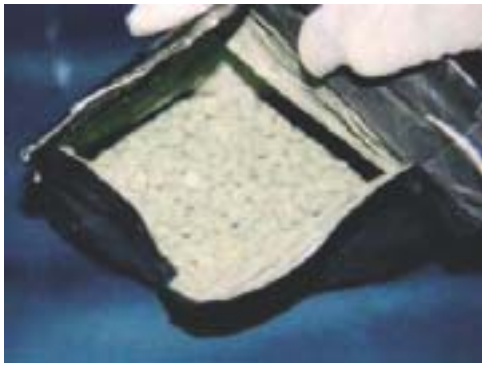
３．錠剤型不正薬物

【旅客がスーツケースを二重工作して密輸しようとした大量のＭＤＭＡを摘発】

○　４月、東京税関は、ベルギーからイギリス経由で成田空港に到着したイギリス人男性旅客の携帯品検査において、スーツケースを二重工作して隠匿したＭＤＭＡ約４万１千錠及びコカイン約１kgを発見・摘発。

【旅客が身辺に巻きつけて密輸しようとした覚せい剤・ＭＤＭＡ混合錠剤を摘発】

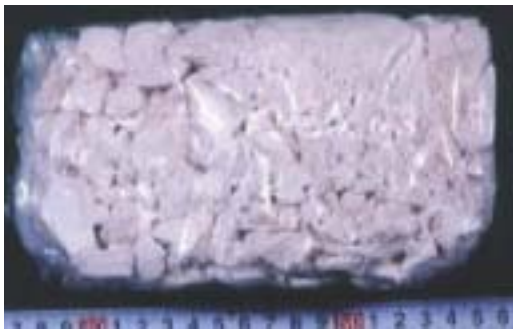
○　１月、大阪税関は、オランダからフランス経由で関西空港に到着したニュージーランド国籍男性旅客の携帯品検査において、腹部に巻き付けて隠匿していた覚せい剤とＭＤＭＡの混合錠剤約１万５千錠等を発見・摘発。



４．ヘロイン及びあへん

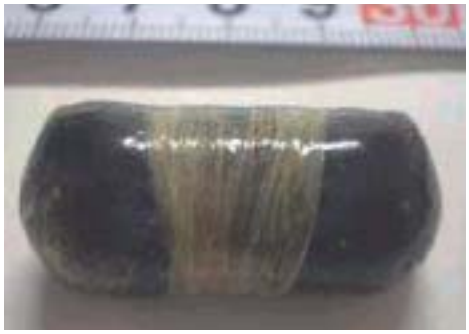
【旅客がラオスからオーストラリアに密輸しようとしたヘロインを摘発】

○　12月、東京税関は、ラオスからオーストラリアにヘロインを密輸しようと企て、ベトナム経由で成田空港に到着し、オーストラリアに向けて出国しようと同空港内にいた日本人男女4名に対し職務質問を行い、同人らが携帯していた免税袋内のお茶缶の中からヘロイン約17kgを発見・摘発。



【旅客が飲み込み（嚥下）隠匿して密輸しようとしたあへんを摘発】

○　６月、名古屋税関は、タイから名古屋空港に到着したドイツ国籍男性旅客の携帯品検査において、飲み込み等により隠匿していたあへん約1.4kgを摘発。



その他の密輸事犯

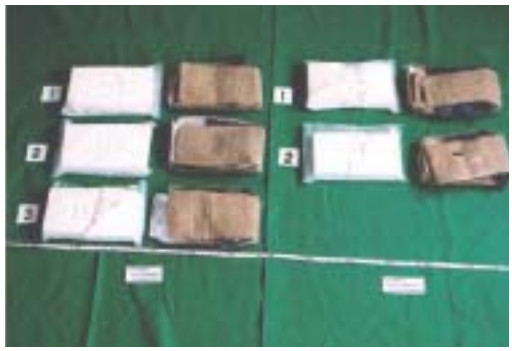
（２）偽造クレジットカード（原板）の密輸入

偽造クレジットカードの製造に使用されるプラスチック製カード（原板）の密輸入が多発。（平成14年：９件、15,056枚を摘発。）

５．コカイン

【地方港を狙って密輸しようとしたコカインを摘発】

○　６月、長崎税関は、コロンビアから青森港経由で志布志港に入港したフィリピン籍船舶の張込みにおいて、夜間、訪船者２名（ペルー国籍男性及びコロンビア国籍男性）が下船してきたことから、職務質問を実施し、両名が身辺に巻き付けて隠匿していたコカイン約５kgを発見・摘発。



【旅客が携帯品に隠匿して密輸しようとしたコカインを摘発】

○　10月、東京税関は、ブラジルからスイス経由で成田空港に到着したブラジル国籍男性旅客の携帯品検査において、携行キャスター付バッグ内、パラシュートに包んで隠匿していたコカイン約５kgを発見・摘発。

６．銃砲等

【旅客が身辺に巻きつけて密輸しようとしたけん銃等を摘発】

○　６月、東京税関は、警視庁と協力して、フィリピンから到着した日本人男性旅客の携帯品検査において、身辺に巻き付けて隠匿していたけん銃６丁及びけん銃用実包111発等を発見・摘発。

【国際郵便の中からペン型けん銃を摘発】

○　１月、神戸税関は、南アフリカから到着した小包郵便物の中からペンシルガン１丁を発見。兵庫県警察本部等と協力して名宛人宅を捜索し、さらに同様のペンシルガン１丁を発見・摘発し、日本人男性１名を検挙。

その他の密輸事犯

（３）盗難自動車の密輸出

近年我が国では自動車盗事件が多発しており、税関では警察等関係機関と連携を図り、盗難自動車の不正輸出の取締りを強化してきている。（平成14年の税関における盗難自動車の摘発は、319件、540台となっている。）